

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高等学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 / SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	英語 / Communication English II	Class hours 時間数	5時間 / 週
----------------------------------	------------	---------------------------------	-------------------------------	--------------------	---------

1学期 中間試験 Term 1 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	Lesson 1, 2	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	Pro-Vision II
------------------------------	-------------	-------------------------------------	---------------

Unit Description 単元の概要	Lesson 1, 2の語彙・文法（過去の習慣 would, 過去分詞で始まる分詞構文、助動詞+have+過去分詞、完了形の分詞構文）を理解し、本文を読解する。その際にワークシートを用いて理解の深化と確認を行う。Lesson 1 [Freedom to be yourself]の内容に基づき、自国と多様な文化の共通点と相違点を比較、考察したポスター・プレゼンテーションをグループで行う。
---------------------------	--

Class Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容		
楽	A3 ①語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。	B3 ②自らの解釈を論理的に共有することができる。	C3	A3 ①適切な文法、発音、イントネーション、アイコンタクト、ジェスチャーでポスターセッションの発表ができる。	B3 ②論理的に矛盾のない英文を適切な文法を用いて人前で発表できる。	C3
好	A2 ①語彙・文法を適切に用いることができる。	B2 ①論理的な思考を必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べることができる。	C2 グローバル化の中で、異文化との対話の道を探り、自らの課題を克服することにより新たなアイデンティティを形成する。	A2 ①適切な和訳・英訳、読解ができる。	B2 ①適切な文法を用いた英文を人前で発表することができる。	C2 自国文化と多様な文化を比較・考察した上で、自らの考えを英語で提案できる。
知	A1 ①言語活動に必要な文法・語彙を身につける。	B1 ①論理的な思考に必要とされる表現や知識を身につける。	C1 自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解した上で、国際的な思考感覚を身につける。	A1 ①語彙・文法を理解し、本文の内容を理解する。	B1 ②文法に基づき、英文の構造を理解できる	C1 グループでのポスター・プレゼンテーション準備、作成の過程を通して自国文化と多様な文化を比較・考察する。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> ワークシート、ポスター・プレゼンテーション <ICT> iTunesU, keynote
--------------	--

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高等学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 / SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	英語 / Communication English II	Class hours 時間数	5時間 / 週
----------------------------------	------------	---------------------------------	-------------------------------	--------------------	---------

1学期 期末試験 Term 1 Final

Name of Unit, Project 単元名	Lesson 3, 5	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	Pro-Vision II
------------------------------	-------------	-------------------------------------	---------------

Unit Description 単元の概要	Lesson 3, 5の語彙・文法（関係副詞の非制限用法、wh-ever, 無生物主語の構文、結果を表す不定詞）を理解し、本文を読解する。その際にワークシートを用いて理解の深化と確認を行う。そしてLesson 5 [Designed to Change the World]の内容に基づき、世界の貧困地域で役立つ革新的なデザイン、発明、システムをクリエイイトしグループでkeynoteを使ってプレゼンテーションを行う。
---------------------------	---

Class Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">楽</td> <td style="width: 25%;"> A3 ①語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。 </td> <td style="width: 25%;"> B3 ②自らの解釈を論理的に共有することができる。 </td> <td style="width: 45%;"> C3 新たな価値観を形成し、革新的な発想を生み出すことで、国際社会に貢献することができる。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">好</td> <td> A2 ①語彙・文法を適切に用いることができる。 </td> <td> B2 ①論理的な思考を必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べるができる。 </td> <td> C2 グローバル化の中で、異文化との対話の道を探り、自らの課題を克服することにより新たなアイデンティティを形成する。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">知</td> <td> A1 ①言語活動に必要な文法・語彙を身につける。 </td> <td> B1 ①論理的な思考に必要とされる表現や知識を身に付ける。 </td> <td> C1 自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解した上で、国際的な思考感覚を身に付ける。 </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">Recognition</td> <td style="text-align: center;">Logical Thinking</td> <td style="text-align: center;">Creative Thinking</td> </tr> </table>	楽	A3 ①語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。	B3 ②自らの解釈を論理的に共有することができる。	C3 新たな価値観を形成し、革新的な発想を生み出すことで、国際社会に貢献することができる。	好	A2 ①語彙・文法を適切に用いることができる。	B2 ①論理的な思考を必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べるができる。	C2 グローバル化の中で、異文化との対話の道を探り、自らの課題を克服することにより新たなアイデンティティを形成する。	知	A1 ①言語活動に必要な文法・語彙を身につける。	B1 ①論理的な思考に必要とされる表現や知識を身に付ける。	C1 自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解した上で、国際的な思考感覚を身に付ける。		Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;"> A3 ①適切な文法、発音、イントネーション、アイコンタクト、ジェスチャーでプレゼンテーションができる。 </td> <td style="width: 25%;"> B3 ②論理的に矛盾のない英文を適切な文法を用いて人前で発表できる。 </td> <td style="width: 50%;"> C3 世界の貧困地域で役立つアイデアを発信することにより、国際社会に貢献することができる。 </td> </tr> <tr> <td> A2 ①適切な和訳・英訳、読解ができる。 </td> <td> B2 ①適切な文法を用いた英文を人前で発表することができる。 </td> <td> C2 自国と世界の国と地域を比較・考察した上で、貧困地域で役立つアイデアを英語で提案できる。 </td> </tr> <tr> <td> A1 ①語彙・文法を理解し、本文の内容を理解する。 </td> <td> B1 ②文法に基づき、英文の構造を理論的に理解できる </td> <td> C1 グループでのプレゼンテーション準備、作成の過程を通して自国と世界の国と地域を比較・考察する。 </td> </tr> </table>	A3 ①適切な文法、発音、イントネーション、アイコンタクト、ジェスチャーでプレゼンテーションができる。	B3 ②論理的に矛盾のない英文を適切な文法を用いて人前で発表できる。	C3 世界の貧困地域で役立つアイデアを発信することにより、国際社会に貢献することができる。	A2 ①適切な和訳・英訳、読解ができる。	B2 ①適切な文法を用いた英文を人前で発表することができる。	C2 自国と世界の国と地域を比較・考察した上で、貧困地域で役立つアイデアを英語で提案できる。	A1 ①語彙・文法を理解し、本文の内容を理解する。	B1 ②文法に基づき、英文の構造を理論的に理解できる	C1 グループでのプレゼンテーション準備、作成の過程を通して自国と世界の国と地域を比較・考察する。
楽	A3 ①語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。	B3 ②自らの解釈を論理的に共有することができる。	C3 新たな価値観を形成し、革新的な発想を生み出すことで、国際社会に貢献することができる。																							
好	A2 ①語彙・文法を適切に用いることができる。	B2 ①論理的な思考を必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べるができる。	C2 グローバル化の中で、異文化との対話の道を探り、自らの課題を克服することにより新たなアイデンティティを形成する。																							
知	A1 ①言語活動に必要な文法・語彙を身につける。	B1 ①論理的な思考に必要とされる表現や知識を身に付ける。	C1 自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解した上で、国際的な思考感覚を身に付ける。																							
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking																							
A3 ①適切な文法、発音、イントネーション、アイコンタクト、ジェスチャーでプレゼンテーションができる。	B3 ②論理的に矛盾のない英文を適切な文法を用いて人前で発表できる。	C3 世界の貧困地域で役立つアイデアを発信することにより、国際社会に貢献することができる。																								
A2 ①適切な和訳・英訳、読解ができる。	B2 ①適切な文法を用いた英文を人前で発表することができる。	C2 自国と世界の国と地域を比較・考察した上で、貧困地域で役立つアイデアを英語で提案できる。																								
A1 ①語彙・文法を理解し、本文の内容を理解する。	B1 ②文法に基づき、英文の構造を理論的に理解できる	C1 グループでのプレゼンテーション準備、作成の過程を通して自国と世界の国と地域を比較・考察する。																								

Others 備考	<評価方法> ワークシート、keynoteを使ったプレゼンテーション <ICT> iTunesU, keynote
--------------	--

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高等学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 / SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	英語 / Communication English II	Class hours 時間数	5時間 / 週
----------------------------------	------------	---------------------------------	-------------------------------	--------------------	---------

2 学期 中間試験 Term 2 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	Lesson 6, 7	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	Pro-Vision II
------------------------------	-------------	-------------------------------------	---------------

Unit Description 単元の概要	Lesson 6,7の語彙・文法（挿入、with+名詞+～、さまざまな不定詞、副詞表現とその位置）を理解し、本文を読解する。その際にワークシートを用いて理解の深化と確認を行う。そしてLesson 6 [The First Olympics]の内容に基づき、自ら選んだ題材をリサーチし、アカデミック・エッセイを書く。
---------------------------	---

Class Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">楽</td> <td style="width: 25%;"> A3 ①語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。 </td> <td style="width: 25%;"> B3 ②自らの解釈を論理的に共有することができる。 </td> <td style="width: 40%;"> C3 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">好</td> <td> A2 ①語彙・文法を適切に用いることができる。 </td> <td> B2 ①論理的な思考を必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べるができる。 </td> <td> C2 グローバル化の中で、異文化との対話の道を探り、自らの課題を克服することにより新たなアイデンティティを形成する。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">知</td> <td> A1 ①言語活動に必要な文法・語彙を身につける。 </td> <td> B1 ①論理的な思考に必要とされる表現や知識を身に付ける。 </td> <td> C1 自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解した上で、国際的な思考感覚を身に付ける。 </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">Recognition</td> <td style="text-align: center;">Logical Thinking</td> <td style="text-align: center;">Creative Thinking</td> </tr> </table>	楽	A3 ①語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。	B3 ②自らの解釈を論理的に共有することができる。	C3	好	A2 ①語彙・文法を適切に用いることができる。	B2 ①論理的な思考を必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べるができる。	C2 グローバル化の中で、異文化との対話の道を探り、自らの課題を克服することにより新たなアイデンティティを形成する。	知	A1 ①言語活動に必要な文法・語彙を身につける。	B1 ①論理的な思考に必要とされる表現や知識を身に付ける。	C1 自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解した上で、国際的な思考感覚を身に付ける。		Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;"> A3 ①適切な文法、綴りで5段落のアカデミック・エッセイを書くことができる。 </td> <td style="width: 25%;"> B3 ②論理的な5段落のアカデミック・エッセイを書くことができる。 </td> <td style="width: 50%;"> C3 </td> </tr> <tr> <td> A2 ①適切な和訳・英訳、読解ができる。 </td> <td> B2 ①適切な文法を用いた英文を書くことができる。 </td> <td> C2 題材の調査、考察を経て5段落のアカデミック・エッセイを完成させる。 </td> </tr> <tr> <td> A1 ①語彙・文法を理解し、本文の内容を理解する。 </td> <td> B1 ②文法に基づき、英文の構造を理解できる </td> <td> C1 アカデミック・エッセイ準備、作成の過程を通して、題材の歴史と発展について考察する。 </td> </tr> </table>	A3 ①適切な文法、綴りで5段落のアカデミック・エッセイを書くことができる。	B3 ②論理的な5段落のアカデミック・エッセイを書くことができる。	C3	A2 ①適切な和訳・英訳、読解ができる。	B2 ①適切な文法を用いた英文を書くことができる。	C2 題材の調査、考察を経て5段落のアカデミック・エッセイを完成させる。	A1 ①語彙・文法を理解し、本文の内容を理解する。	B1 ②文法に基づき、英文の構造を理解できる	C1 アカデミック・エッセイ準備、作成の過程を通して、題材の歴史と発展について考察する。
楽	A3 ①語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。	B3 ②自らの解釈を論理的に共有することができる。	C3																							
好	A2 ①語彙・文法を適切に用いることができる。	B2 ①論理的な思考を必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べるができる。	C2 グローバル化の中で、異文化との対話の道を探り、自らの課題を克服することにより新たなアイデンティティを形成する。																							
知	A1 ①言語活動に必要な文法・語彙を身につける。	B1 ①論理的な思考に必要とされる表現や知識を身に付ける。	C1 自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解した上で、国際的な思考感覚を身に付ける。																							
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking																							
A3 ①適切な文法、綴りで5段落のアカデミック・エッセイを書くことができる。	B3 ②論理的な5段落のアカデミック・エッセイを書くことができる。	C3																								
A2 ①適切な和訳・英訳、読解ができる。	B2 ①適切な文法を用いた英文を書くことができる。	C2 題材の調査、考察を経て5段落のアカデミック・エッセイを完成させる。																								
A1 ①語彙・文法を理解し、本文の内容を理解する。	B1 ②文法に基づき、英文の構造を理解できる	C1 アカデミック・エッセイ準備、作成の過程を通して、題材の歴史と発展について考察する。																								

Others 備考	<評価方法> ワークシート、アカデミック・エッセイ <ICT> iTunesU, keynote
--------------	---

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高等学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 / SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	英語 / Communication English II	Class hours 時間数	5時間 / 週
----------------------------------	------------	---------------------------------	-------------------------------	--------------------	---------

2学期 期末試験 Term 2 Final

Name of Unit, Project 単元名	Lesson 8, 10	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	Pro-Vision II
------------------------------	--------------	-------------------------------------	---------------

Unit Description 単元の概要	Lesson 8, 10の語彙・文法（省略、there を用いた表現、suggest that + S + (should) 動詞の原形、be + to do）を理解し、本文を読解する。その際にワークシートを用いて理解の深化と確認を行う。そしてLesson 10 [The Underground Reporters]の内容に基づき、クラス全員が記者になりそれぞれの記事を作成し、一つの新聞を創り上げる。
---------------------------	--

Class Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">楽</td> <td style="width: 25%;"> A3 ①語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。 </td> <td style="width: 25%;"> B3 ①与えられたテーマに対して、英語を通じてディスカッションができ、他者の考えを理解し、自らの意見を論理的に主張することができる。 </td> <td style="width: 45%;"> C3 新たな価値観を形成し、革新的な発想を生み出すことで、国際社会に貢献することができる。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">好</td> <td> A2 ①語彙・文法を適切に用いることができる。 </td> <td> B2 ①論理的な思考を必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べるができる。 </td> <td> C2 グローバル化の中で、異文化との対話の道を探り、自らの課題を克服することにより新たなアイデンティティを形成する。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">知</td> <td> A1 ①言語活動に必要な文法・語彙を身につける。 </td> <td> B1 ①論理的な思考に必要とされる表現や知識を身につける。 </td> <td> C1 自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解した上で、国際的な思考感覚を身につける。 </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">Recognition</td> <td style="text-align: center;">Logical Thinking</td> <td style="text-align: center;">Creative Thinking</td> </tr> </table>	楽	A3 ①語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。	B3 ①与えられたテーマに対して、英語を通じてディスカッションができ、他者の考えを理解し、自らの意見を論理的に主張することができる。	C3 新たな価値観を形成し、革新的な発想を生み出すことで、国際社会に貢献することができる。	好	A2 ①語彙・文法を適切に用いることができる。	B2 ①論理的な思考を必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べるができる。	C2 グローバル化の中で、異文化との対話の道を探り、自らの課題を克服することにより新たなアイデンティティを形成する。	知	A1 ①言語活動に必要な文法・語彙を身につける。	B1 ①論理的な思考に必要とされる表現や知識を身につける。	C1 自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解した上で、国際的な思考感覚を身につける。		Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;"> A3 ①適切な文法、綴りで新聞記事を書くことができる。 </td> <td style="width: 33%;"> B3 ①記事作成の過程において、記者と互いの記事について議論する。 </td> <td style="width: 34%;"> C3 時事問題、社会、政治、経済、スポーツ、エンターテイメントなどの分野における新たな価値観を発信することで国際社会に貢献することができる。 </td> </tr> <tr> <td> A2 ①適切な和訳・英訳、読解ができる。 </td> <td> B2 ①適切な文法を用いた英文を書くことができる。 </td> <td> C2 取材、背景の考察、記者との議論を経て英文記事を完成させる。 </td> </tr> <tr> <td> A1 ①語彙・文法を理解し、本文の内容を理解する。 </td> <td> B1 ②文法に基づき、英文の構造を理解できる </td> <td> C1 新聞記事のための取材、作成の過程を通して、題材の背景や多様な側面について考察する。 </td> </tr> </table>	A3 ①適切な文法、綴りで新聞記事を書くことができる。	B3 ①記事作成の過程において、記者と互いの記事について議論する。	C3 時事問題、社会、政治、経済、スポーツ、エンターテイメントなどの分野における新たな価値観を発信することで国際社会に貢献することができる。	A2 ①適切な和訳・英訳、読解ができる。	B2 ①適切な文法を用いた英文を書くことができる。	C2 取材、背景の考察、記者との議論を経て英文記事を完成させる。	A1 ①語彙・文法を理解し、本文の内容を理解する。	B1 ②文法に基づき、英文の構造を理解できる	C1 新聞記事のための取材、作成の過程を通して、題材の背景や多様な側面について考察する。
楽	A3 ①語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。	B3 ①与えられたテーマに対して、英語を通じてディスカッションができ、他者の考えを理解し、自らの意見を論理的に主張することができる。	C3 新たな価値観を形成し、革新的な発想を生み出すことで、国際社会に貢献することができる。																							
好	A2 ①語彙・文法を適切に用いることができる。	B2 ①論理的な思考を必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べるができる。	C2 グローバル化の中で、異文化との対話の道を探り、自らの課題を克服することにより新たなアイデンティティを形成する。																							
知	A1 ①言語活動に必要な文法・語彙を身につける。	B1 ①論理的な思考に必要とされる表現や知識を身につける。	C1 自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解した上で、国際的な思考感覚を身につける。																							
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking																							
A3 ①適切な文法、綴りで新聞記事を書くことができる。	B3 ①記事作成の過程において、記者と互いの記事について議論する。	C3 時事問題、社会、政治、経済、スポーツ、エンターテイメントなどの分野における新たな価値観を発信することで国際社会に貢献することができる。																								
A2 ①適切な和訳・英訳、読解ができる。	B2 ①適切な文法を用いた英文を書くことができる。	C2 取材、背景の考察、記者との議論を経て英文記事を完成させる。																								
A1 ①語彙・文法を理解し、本文の内容を理解する。	B1 ②文法に基づき、英文の構造を理解できる	C1 新聞記事のための取材、作成の過程を通して、題材の背景や多様な側面について考察する。																								

Others 備考	<評価方法> ワークシート、新聞記事作成 <ICT> iTunesU, keynote
--------------	--

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高等学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 / SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	英語 / Communication English II	Class hours 時間数	5時間 / 週
----------------------------------	------------	---------------------------------	-------------------------------	--------------------	---------

3 学期 学年末試験 Term 3 Final

Name of Unit, Project 単元名	Lesson 4, 9	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	Pro-Vision II
Unit Description 単元の概要	Lesson 4, 9の語彙・文法（倒置、前置詞＋関係代名詞、S + seem to ~ / It seems + that 節）を理解し、本文を読解する。その際にワークシートを用いて理解の深化と確認を行う。そしてLesson 4 [Handwriting in the Digital Age]の内容に基づき、iMovieを使ったナレーション付き動画、アカデミック・エッセイ、keynoteを使ったプレゼンテーション、ポスター・プレゼンテーションのいずれかを用いてモダン・テクノロジーについて発表する。		

Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
楽	A3 ①語彙・文法を適切に用いて、自らの考えや意見を発信することができる。	B3 ②自らの解釈を論理的に共有することができる。	C3 新たな価値観を形成し、革新的な発想を生み出すことで、国際社会に貢献することができる。	A3 ①適切な文法、綴りで英文を書くことができる。	B3 ②論理的に矛盾のない英文を適切な文法を用いて人前で発表できる。	C3 モダン・テクノロジーの分野における新たな価値観を発信することで国際社会に貢献することができる。
好	A2 ①語彙・文法を適切に用いることができる。	B2 ①論理的な思考を必要とされる表現を用いて、自らの考えを述べるができる。	C2 グローバル化の中で、異文化との対話の道を探り、自らの課題を克服することにより新たなアイデンティティを形成する。	A2 ①適切な和訳・英訳、読解ができる。	B2 ①適切な文法を用いた英文を書くことができる。	C2 モダン・テクノロジーについて調査、考察した上で、自らの考えを英語で発表できる。
知	A1 ①言語活動に必要な文法・語彙を身につける。	B1 ①論理的な思考に必要とされる表現や知識を身につける。	C1 自国文化と多様な文化の共通性や相違点を理解した上で、国際的な思考感覚を身につける。	A1 ①語彙・文法を理解し、本文の内容を理解する。	B1 ②文法に基づき、英文の構造を理解できる	C1 発表準備、作成の過程を通して、モダン・テクノロジーやその多様な側面について調査、考察する。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> ワークシート、アカデミック・エッセイ、keynoteを使ったプレゼンテーション、ポスター・プレゼンテーション <ICT> iTunesU, keynote
--------------	---